

世界の「AIOIYAMA」プロジェクト検討会議（第10回） 会議記録

日 時	平成29年11月16日（木） 13時15分～14時05分
出席者	<p>会長（河村市長）、副会長（新開副市長、堀場副市長、伊東副市長）、委員（横田防災危機管理局長、中田市民経済局長、渡邊観光文化交流局長、山本環境局長、杉山健康福祉局長、光安住宅都市局長、三輪緑政土木局長、木全消防長、山田天白区長）、委員代理（渡部子ども青少年副局長、）、オブザーバー（小島経営アドバイザー、道路事業廃止作業部会長（緑政土木局道路建設部長）、交通対策作業部会長（緑政土木局路政部長）、緑地整備作業部会長（緑政土木局緑地部長）、事務局（緑政土木局副局長、主幹（企画）） 計20名</p>
発言者	内 容
事務局	<p>本日は、お忙しいなか「世界の「AIOIYAMA」プロジェクト」のために、お集まりいただき誠にありがとうございます。これより、第10回検討会議を開会します。</p> <p>はじめに、本会議の取扱い及び情報公開について、説明します。要綱で設置されたこの検討会議は、会議そのものは庁内会議ですので非公開となります。ただし、「庁内会議の公表に関する指針」の情報公開すべき庁内会議に当たるため、会議終了後、会議の概要を作成し、会議資料とともに公式ウェブサイトで公表することとなります。また、本会議の議事を会議記録として作成し、行政文書公開請求があった場合には公開対象となりますので、よろしくお願ひします。</p> <p>まず初めに、先日行われた土木交通委員会における平成28年度決算認定審議について、担当主幹より報告します。</p>
事務局	<p>企画担当主幹の加藤です。よろしくお願ひします。</p> <p>それでは、土木交通委員会の決算認定審議において、委員から本プロジェクトに対するご質問やご意見をいただきましたので、報告します。</p> <p>平成28年度決算においては、「世界の「AIOIYAMA」プロジェクト」に関する経費支出の必要性や弥富相生山線についての工事中断後の維持管理費などについて、ご質問やご意見をいただきました。「世界の「AIOIYAMA」プロジェクト」に関する経費支出の必要性に対して当局からは、「概ね事業が進んでいる都市計画道路の事業を中止して、新たに緑地として都市計画の決定をして、さらに緑地の工事をするのは、これまで経験のないことですので、地元の方や市民団体の方と相談をしながら、最終的には都市計画の変更をしていきたい」などの答弁をしました。</p> <p>また、工事中断後の維持管理費に対して当局からは、「道路のまま工事を続けていけば工事完成とともに、不要になる費用ですが、平成26年12月に市長が年末の記者会見にて方針が出されている通り、これまでの道路部分についても、公園施設として活用していくとの発言をしていますの</p>

<p>会長</p>	<p>で、その市長の考えに沿うように検討を進めています」などの答弁をしました。</p> <p>決算認定審議における報告は以上です。</p> <p>それでは、要綱の規定により、この会議の会長を市長にお願いしていますので、ここからの進行は市長にお願いします。</p> <p>これまで、「世界の「AIOIYAMA」プロジェクト」として、私の構想の実現に向けて鋭意検討を進めてもらっている。6月の前回会議では、各作業部会の検討状況について確認を行った。今回は、現在の検討状況に加えて、来年度予算の要求方針についても確認したい。それでは、事務局から資料の説明をお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>それでは、議題1の「各作業部会の検討状況」について、事務局より資料1を用いて、プロジェクト全体の検討状況について説明します。また、議題2の「来年度予算」については、現在の各作業部会における検討状況と密接に関係するので、それぞれの作業部会より、資料2から資料5を用いて、「現在の検討状況」と「来年度に必要と想定される経費」の2つを併せて説明します。</p> <p>まずは、プロジェクト全体の検討状況について説明します。資料1をご覧ください。資料1は上段に道路事業廃止作業部会、中段に緑地整備作業部会、下段に交通対策作業部会の検討フローを示しています。赤の破線で示しているところが昨年度までに検討が済んでいるところであり、青の破線で示しているところが、今年度の到達点となる予定となっています。</p> <p>まず上段の道路事業廃止作業部会ですが、道路ネットワーク機能と防災機能を確保するため検討が進められており、今年度中にその機能を確保するため代替案を策定する予定となっています。今後、道路ネットワーク及び防災機能の統合・検証、都市計画変更素案の策定へと移り、緑地整備と併せて都市計画変更の手続きに移っていきます。後ほど資料2・3を用いて詳しく説明します。</p> <p>中段、緑地整備作業部会です。これまで緑地整備の計画を策定するための検討が進められており、今年度中には緑地整備の基本計画の素案を策定する予定となっています。今後、緑地整備基本計画の策定、都市計画変更素案の策定へと移り、道路事業の廃止と併せて、都市計画変更の手続きに移ります。後ほど資料3を用いて詳しく説明します。</p> <p>下段、交通対策作業部会です。入り込み交通対策として山根学区交通対策協議会を設立し、地元と一緒に交通対策を検討すると共に、交通対策案の実施とその検証を行っているという状況です。こちらも後ほど資料4・5を用いて詳しく説明します。</p> <p>また現在「世界の「AIOIYAMA」プロジェクト」事業のコンセプトの作成を進めており、コンセプト案が出来上がりましたら、後日検討会議に諮りた</p>

<p>道路事業廃止 作業部会長</p>	<p>いと考えています。</p> <p>最後にプロジェクトを進める中で、各市民団体の皆様から様々の要望をいただいているので、簡単ではございますが、紹介させていただきます。緑地整備案を検討するに当たっては、「市民からのヒアリングを早期に行ってほしい」とのことや「市政アンケートより先に市民への説明を実施してほしい」という要望、また、「100年後の相生山緑地をイメージしたアイデアや思いが詰まった要望」などをいただいております。当局としては、いただいている要望の調整を図りながらプロジェクトの検討を進めていきたいと考えています。</p> <p>続いて、各作業部会より「現在の検討状況」と「来年度に必要とされる想定される経費」の説明をします。</p> <p>道路事業廃止作業部会の部会長の井田です。当部会では道路事業を廃止するため「道路ネットワーク機能の確保」と「防災機能の確保」について検討を進めています。</p> <p>資料2をご覧ください。道路ネットワーク機能に関する代替案の検討結果です。昨年度ご報告しました通り、右上にある、島田交差点を中心としたその周辺、そして左下にある、野並交差点を中心としたその周辺において混雑や渋滞が確認されています。それぞれの対策として、右上の島田交差点周辺では、島田、新島田橋西の2つの交差点において、車線の追加などを行います。それと共に赤色の丸でお示ししている、島田3、島田東を含めた4つの交差点において交通の円滑化を図る信号現示の最適化を講じることなどが、将来にわたっても有効であると確認できました。また左下の野並交差点の周辺においても同様に、野並交差点における車線の追加や黄色の丸で示している、古鳴海の交差点を合わせた2つの交差点における信号現示の最適化を講じることなどが将来にわたっても有効であると確認できました。以上をもって道路ネットワーク機能の代替案としたいと考えています。今後はその代替案について、関係機関との協議準備を進めていきます。</p> <p>次に防災機能の確保についてです。昨年度ご報告した通り、弥富相生山線は「災害時の避難のための経路」や「消火活動の場所」、「救急車などの緊急車両が通行するための経路」といった防災機能が期待されておりました。</p> <p>資料3をご覧ください。資料3の裏面の中央に水色で囲まれた⑧のゾーンにおいて、市長方針にもあるように、1車線相当の園路を設け、西側の下山畑口から東側の相生口までつなげることにより、防災機能を確保できることを確認しました。この園路を整備することで、防災機能の代替案としたいと考えています。</p> <p>今後は緑地整備の作業部会と合同で園路の公園施設としての運用など、詳細な検討を進めていきたいと思っています。</p> <p>最後に来年度についてですが、道路ネットワーク機能及び防災の代替案の</p>
-------------------------	--

<p>緑地整備作業 部会長</p>	<p>統合・検証を行い、計画素案を策定します。そしてこれを基に緑地整備作業部会と連携し、住民の皆様からご意見を伺います。また、関係機関との協議も併せて行い、都市計画変更素案として取りまとめてまいりたいと考えています。この都市計画変更素案のために必要な経費として、約740万円を要すると試算しています。来年度より住民の皆様へご説明に入りますが、丁寧な説明と対応に努めたいと考えています。道路事業廃止部会からの報告は以上です。</p> <p>緑地整備作業部会の部会長の今西です。当部会ではこれまで15回の会議を開催して、相生緑地の整備案について検討を進めています。お手元の資料1をご覧ください。当部会の検討状況ですが、今年度検討している内容は、青の破線で囲った枠内の中段緑色の部分です。まず、基本計画素案の策定として、「動線計画」及び「施設計画」について検討しています。なお、これらは平成27・28年度に検討した「前提条件の整備」や「事例調査」・「基本方針」・「配置計画」を基に検討を進めています。検討した内容を資料3にまとめていますので、資料3をご覧ください。</p> <p>緑地整備については、現況の地形や土地利用を生かし、地形の改変を抑えて自然環境に配慮すると共にユニバーサルデザインの考えを取り入れ、誰もが利用しやすい公園となるよう検討しています。配置計画では、相生山緑地を「①自然ふれあいゾーン」から「⑧出会いプロムナードゾーン」の8つに分類しています。そして「施設計画」では、それぞれのゾーンについて主要な施設を検討しました。主要な施設としては、「①ふれあいゾーン」に「環境学習広場」や「グランピング場」・「森のアスレチック」など、また、「⑧出会いのプロムナードゾーン」に「見晴らし広場」などを検討しています。そして、「動線計画」については、主要動線のイメージを赤の点線でお示ししました。各ゾーン同士の動線をつなぐと共に「①自然ふれあいゾーン」では、緑地内を回遊するイメージを考えています。なお、動線は極力、現在ある道路や散策路を活用するものとしています。</p> <p>次に市民からの意見聴取です。資料1にお戻りください。意見聴取方法の検討として、今年度は地元の皆様や各種団体の方を対象とした「説明会」や「意見交換」について具体的な時期や実施方法について検討しています。また前回の検討会議でも説明しましたが、今年度は市政アンケートを実施し、相生山緑地について、一般市民の皆様から幅広くご意見を伺います。市政アンケートについては、先週の11月7日に発送しました。最終的な集計結果は、12月26日に市公式ウェブサイトに掲載される予定です。またこの他、第9回検討会議でご意見のありました有識者の方々へのヒアリングも実施しました。ヒアリングした5名の有識者のご意見については、「動線計画」や「施設計画」の考え方の参考とさせていただきました。続きまして、今後の取組みです。来年度予定している内容は、オレンジ色の破線で囲った枠内中段の緑色の部分です。</p>
-----------------------	--

<p>交通対策作業 部会長</p>	<p>今年度中に取りまとめる「基本計画素案」をたたき台として、平成30年度には、地元の皆様や各種団体の方々などを対象に説明会や意見交換を行う予定です。そして、「説明会」や「意見交換」で得られた様々のご意見や有識者からの提言を基本計画として取りまとめ、緑地整備の都市計画変更素案を作成したいと考えています。これらの「緑地整備基本計画」、また「都市計画変更素案」の作成に必要な経費として、約600万円を要すると試算しています。緑地整備作業部会からの報告は以上です。よろしくお願ひします。</p> <p>続きまして、交通対策作業部会から説明します。部会長の平尾です。よろしくお願ひします。</p> <p>当部会ではこれまで16回の会議を開催し、弥富相生山線の近隣住宅地への通過自動車の入り込み対策について検討を進めています。</p> <p>お手元の資料4をご覧ください。平成29年度は歩行者と自転車の安全性の向上と、入り込み車両を減らす効果を期待して資料右側の箇所には歩道・狭さく及び防護柵の設置を行いました。そして効果を検証するために、昨年と同様、対策前後の交通状況について調査を行いました。</p> <p>効果検証の結果については、次の資料5をご覧ください。事前調査は6月22日、事後調査は9月14日に行いました。主な調査内容としては、通り抜け台数の把握を目的としたナンバープレート調査、対策箇所における車両の速度状況調査、双子池前の交通量調査です。結果は右側の3にお示ししています。</p> <p>通り抜け台数は「694台」が「566台」と数字的には大幅に減ったように見えますが、昨年度を見て見ますと、事前が「565台」事後が「523」台であり、その結果については少々判断しかねるところです。双子池前の交通量は「1,388台」が「1,338台」とほとんど変わりありませんでした。しかし、車両の速度に着目してみると、対策を実施した個所において、時速30キロ以下で走っている車両の割合は「29%」が「43%」と「約14%」増加しました。対策工事後の地元の主な意見をご紹介しますと、「対策工事によって安心して歩けるようになった。」、「車のスピードが落ち安全になったので、他にも狭さくなどを設置してほしい。」など、一定の評価を得ることができました。</p> <p>一方で「まだ危険と感ずる交差点などがあるので、さらなる対策をしてほしい」などのご要望もいただいています。従いまして、今後も山根学区交通対策協議会にて更なる対策を検討し、児童や高齢者が安心して歩ける環境づくりに取り組んでいきたいと考えています。</p> <p>来年度の対策に要する費用については、狭さく等の設置や対策等の効果検証に要する費用を含め約1,300万円ほどが必要になるかと考えています。交通対策作業部会からの報告は以上です。よろしくお願ひします。</p>
-----------------------	---

事務局	資料の説明は以上です。市長へお返しします。
会長	はい、それでは、これより意見交換に移ります。議題1、2について、発言したい方は挙手をお願いします。
新開副会長	はい。
会長	はい、どうぞ。
新開副会長	最初の方で市民の要望を紹介していたが、市民というのは今までご要望いただいている団体に所属している1人の市民を指しているのか、それとも、名古屋市全体の市民を指しているのかというのが1点。それから、道路事業廃止作業部会については交差点ごとに車線の追加や信号現示の最適化の話がありましたが、どのぐらい車線を追加し、また信号をどのようにするのかということ具体的な時期も含めて教えて欲しい。最後に緑地整備作業部会については、ゾーンごとに分けることはわかるが、緑地全体は高低差があるので、平面図だけでなくもう少し立体的にわかるようなものがあるとイメージがしやすいと思う。ある程度全体の雰囲気はわかるのは、だいたいいつ頃を考えているのか教えてほしい。
会長	はい、答弁をお願いします。
事務局	まず、市民の方からご意見をいただいている件ですが、前回の検討会議以降に3件いただいています。その3件については全て市民団体からです。
新開副会長	市民団体ということね。
道路廃止作業部会長	はい、道路事業廃止作業部会です。先ほど道路ネットワーク機能の代替ということで交差点の改良等について説明しましたが、もう少し具体的に、説明します。右上の島田、新島田橋西については、朝の西行きが混むということで、島田と新島田橋西で西行きの車線を増やすとともに、それに併せて信号のサイクルを変えるという案などを考えています。また野並については、野並の交差点の北方向、南方向で1車線追加などを考えています。今年度に案を作成し、協議資料を整えてから、警察等との協議をしていきたいと考えています。これら対策が、道路事業廃止作業部会としては、渋滞対策として有効であると考えています。
新開副会長	警察との協議が始まるのはいつ頃か。

<p>道路事業廃止 作業部会長</p>	<p>今年度中に下打合せを行いたいと考えていますが、本格的には来年度からです。</p>
<p>緑地整備作業 部会長</p>	<p>はい、緑地整備作業部会です。具体的なイメージですが、主要な施設を計画していく中で他都市の事例等を入手していますので、今年度に具体的なイメージパース的なものを2つか3つ委託業務の中で作成する予定です。</p>
<p>新開副会長</p>	<p>ゾーンと言われてもどのようになるかを想像するのは難しい。</p>
<p>会長</p>	<p>はい、いいですか。はい、小島経営アドバイザー。</p>
<p>小島経営アド バイザー</p>	<p>前回会議に出席した際にはスケジュールの話をしました。相生山緑地の場合には、緑地の保全という観点もありますが、ユニバーサルデザインの公園を造ることを考えると、緑地保全に加えて、障害を持った方々でも利用・活用できるという観点が必要になります。今後住民とお話されるわけなので期限を設けると色々な影響があることが予想されます。ユニバーサルデザインや障害者のことを考えると、大きなトレンドとしては、日本全体が高齢化していくので、人間の活動・運動量は減っていきます。そのため、ハンディキャップを持った人や高齢者の方々が使いやすい街にしてもらわないといけないと思います。</p> <p>前々から言っていますが、100メートル道路は立派だけれども1回では渡り切れません。歩道橋があっても上れないため、エレベーターを付けなければいけないし、道路も1回で渡れるような安全なものではないといけません。道路が広ければいいという時代はもう終わっています。</p> <p>当初からオリンピック・パラリンピックを絡めたタイムスケジュールの話をしていますが、パラリンピックは障害者スポーツですが、障害者スポーツの全体の流れとしては、障害と言うのはあくまでも一つの特徴的な部分であるという見方です。例えば文化面で見て見ても、障害者の方がピアノを弾いたり、歌を歌ったりしています。障害を持っていなくても歳をとれば身体機能が十分でなくなるし、そのような人達が多数派になってきます。そういう世の中になっていくので、活用ということを公園整備の中で考えていただきたいです。障害を持っている人が相生山緑地にどうやってアクセスするのかということや、公共交通機関で来る場合にはその地下鉄の駅のエレベーターまでの道筋、また車で来た場合にはどこで降りてどこで車椅子に乗るかなども含めて考えていただきたいと思います。また実際に歩いた場合にはどうなるかなども考える必要があります。障害の程度は色々あるし、身体機能の低下についても人それぞれなので、実際にハンディキャップを持った人や高齢者がどういう動線でどのように利用・活用するのかということがわかるイメージがあると良いと思います。</p> <p>そのためには、さっき説明をしていた平面図だけではなく、作るのは大変</p>

会長	<p>かもしませんが、建物を作る時に使ったりする立体図などがあれば、360度見ることができるので、どんな建物ができるのかイメージができます。そのような図を示すことができると、相生山緑地の将来イメージがよくわかるので市民から意見が出やすくなると思います。まとめて言うと、保全、それからユニバーサルデザイン、そのハンディキャンプを持っている高齢者がどう利用・活用できるのか、それとどうアクセスするのかという話です。また、意見をまとめる時にはよりわかりやすい絵を作ることと、2020年のパラリンピックの直前までは、障害に対する気運が高まっているので、全国的に様々なキャンペーンが行われると思います。そういうのを踏まえてスケジュールを考えていただきたいです。</p>
緑地整備作業部会長	<p>はい、緑地整備作業部会長。</p> <p>はい、緑地関係の保全と利用のバランスは非常に大事だと思っています。特に相生山緑地の場合には、周辺からの動線の取り付けを考えると、どのようにたどり着くのかということを押さえる必要があります。また、相生山緑地は周辺部が利用しやすい土地利用状況ですので、そのようなところに主要な施設、また障害者の方も使えるような施設を配置しながら、最寄りの駐車場の配置も併せて考えていくことが必要だと考えています。そのための具体的な検討の準備を今後進めて行きたいと思っています。</p>
会長	<p>はい、どうぞ。</p>
伊東副会長	<p>それは緑地整備計画の素案の中で出てくるのか。</p>
緑地整備作業部会長	<p>今年度の緑地整備計画の素案の中でも、主要な施設の中に駐車場も記載されていますので、最終的にはお示しできると考えています。</p>
伊東副会長	<p>先ほど新開副会長や小島経営アドバイザーから言われた立体図のようなものは住民の方々にご説明する時に用意するのか。</p>
緑地整備作業部会長	<p>立体的な模型については今年度考えていませんので、来年度に向けて、どういったものが効果的なのかということも含めて検討します。</p>
会長	<p>はい、新開副会長。</p>
新開副会長	<p>小島経営アドバイザーからユニバーサルデザインや障害者の方に優しい施設を造るといいという話があったが、資料3ではユニバーサルデザインという言葉が「⑦地域交流ゾーン」のところしかない。確かに、相生山緑地全体の地形を考えると難しいことはわかるが、言葉的にユニバーサルデ</p>

	<p>ザイン遊具広場というのが一箇所なのが気になる。全体的にユニバーサルデザインを醸し出すならもっとユニバーサルデザインという言葉があっても良いような気がするけどそこらへんはどう考えているのか。</p>
<p>緑地整備作業 部会長</p>	<p>例えば「①自然ふれあいゾーン」の中にあるボードウォークは車椅子も通れるようなものを考えていますし、「⑤農業体験ゾーン」においても、一部はデッキ風にして、車椅子の方でも作業がしやすいものを作ったりということも考えています。また、「③野外活動ゾーン」のキャンプ場についても、障害者の方も使えるように、例えばIHが使えるようにするなどを考えています。各ゾーンに配置されている主要な施設については、ユニバーサルデザインを十分に取り込んだ作り方をしていきたいと思っています。</p>
<p>堀場副会長</p>	<p>すみません。</p>
<p>会長</p>	<p>はい、堀場副会長。</p>
<p>堀場副会長</p>	<p>資料3の中で動線のイメージが赤い点線で示されているが、等高線を見ると高低差がかなりあるように見える。この動線イメージの趣旨というか、この動線でユニバーサルデザインを行おうとすると結構土地の改変をしないとできないのではないかと思う。そのため、この動線イメージとユニバーサルデザインとがどのように重なるのかということを知りたい。ということが1点。それともう1点、相生山緑地の現在の使われ方だと、高齢者が健康作りのために凸凹しているところを歩いたりというような使い方もあったり、その他にもたぶんいくつかのレベルによって使い分けがあると思うが、そういった使い方についての個別的な考え方について教えてほしい。</p>
<p>緑地整備作業 部会長</p>	<p>大前提として、園路の作り方については既存の道路や散策路を基本的に活用する予定ですので、大きな土地の改変はないと思っています。今後、具体的に細かな園路の設定をしていきます。また、健康作りのために、自然の中を歩いたり、散策したりということもありますし、現況の地形や土地利用を考えると隅から隅までユニバーサルデザインを盛り込むことは難しいと思っています。ただし、主要な施設につきましては、ユニバーサルデザインを取り入れ、移動の円滑化を進めたいと思っています。</p>
<p>会長</p>	<p>はい、どうぞ。</p>
<p>堀場副会長</p>	<p>土地の改変をあまりしないということなので、公園の中でユニバーサルデザインを取り入れるところは、動線的には限られるという理解で良いか。</p>

<p>緑地整備作業 部会長</p>	<p>はい、その通りです。</p>
<p>会長</p>	<p>私からも一つ質問がある。小島経営アドバイザーの言うように、テレビを見ているとオリンピック・パラリンピックについて、特にパラリンピックに対する報道は、NHKを始めとして多いように見える。相生山緑地にオリンピック・パラリンピックの種目ができるところを造ると盛り上がるような感覚はある。そのような考えはないか。</p>
<p>緑地整備作業 部会長</p>	<p>種目との関連性までは調べていないので、考えさせて下さい。</p>
<p>会長</p>	<p>そういうことをやると中々盛り上がるのではないかと思う。</p>
<p>堀場副会長</p>	<p>種目についてはトラックが多いので難しいと思うが、よく考えてください。</p>
<p>会長</p>	<p>これから考えてほしい。 パラリンピックに関連するようなことが相生山緑地でできるとNHKでも放送される可能性があると思う。パラリンピックについては、NHKにおいて前回との対比もやっていたが、観客もだいぶ増えたみたいだ。もし、パラリンピックの種目ができるところを造るとNHKなどで報道される可能性があると思う。</p>
<p>山田委員</p>	<p>すみません。</p>
<p>会長</p>	<p>はい、山田委員。</p>
<p>山田委員</p>	<p>地元のことなので何点か質問します。まず、入り込み対策についてですが、前回と交通量的にはあまり大きな変化はありませんでしたが、通過車両のスピードが落ちたということで、地元の方も喜んでいますが、山根学区については、協議会が設置されていて、地元と緑政土木局の担当者がよく話し合っている進捗については把握ができています。今後についてもさらなる対策をお願いします。それ以外の道路と公園については、元々地元は渋滞対策として道路を通してほしいということでしたが、市長の大きな見直しがあり園路に変更となりました。現在は緊急用車両を通ることができる園路を早く造ってほしいとの要望をずっとしていますが、中々その答えが地元伝わっていないように思います。事務局よりお話はありましたが、具体的な時期やどのように進めていくかという話がありま</p>

	<p>せん。道路事業廃止作業部会の話についても、交通量調査をしていることは知っていますが、具体的な結果についてはあまり伝わっていません。ここ何年かあまり情報がなくて地元の方々も結構不安に思っていると思います。来年度から説明会が始まると思いますが、丁寧に説明をしていただきたいと思います。それから、元々自然に配慮した道路ということで計画をしていたと思いますが、市長の見直しがあり、自然を残していくという緑地整備計画を考えていると思いましたが、先ほどの説明で自然を残すのではなく、自然に配慮した公園という説明がありました。そこが少し私自身は気になりました。先ほど新開副会長や小島経営アドバイザーが緑地整備計画について触れていましたが、資料3を見ていると自然はどこにいつてしまうのかという風に思います。</p> <p>先ほど道路対策で車線を増やしたり、信号現示を最適化することにより渋滞を解消させるという話でしたが、緑地を整備すると相生山緑地に来る人も増えることになると思います。それにより平日においても交通量が増えることになると思うので、どの程度の集客を見込んで、将来的な交通量をどう考えているのかということが知りたいです。やはり、地元に住んでいる人のことを考えると世界からたくさんの方が相生山緑地に来ることで渋滞を引き起こしてしまっても本末転倒なのでその点をぜひ配慮していただきたいと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>答弁の前に一言。いい事を言うと、この前山根の委員長の原氏とどこで会った時だったかな。「役人の皆さんには、大変丁寧に地元の対策をやってくれて、大変ありがとう。」とおっしゃっていた。</p>
<p>新開副会長</p>	<p>それは一番向こうの、あの。</p>
<p>交通対策作業部会長</p>	<p>検証しながら、一步一步やっています。</p>
<p>会長</p>	<p>そういうお話がありました。</p>
<p>堀場副会長</p>	<p>検証しながら、一步一步やっているの、「大変丁寧にやっていただいている。」とおっしゃっていました。</p>
<p>会長</p>	<p>そういう、話がありました。あと、誰か説明はありますか。</p>
<p>事務局</p>	<p>丁寧な説明というところですが、確かに私どもはこれまで検討した具体的な数値や現地の調査結果については示させていただいていません。今後地元に入った時には、そういったところまでご説明しないとご理解いただけないと思いますので、できるだけ丁寧な説明に努めてまいりた</p>

	いと、考えております。よろしく申し上げます。
緑地整備作業 部会長	緑地整備ですけれども、先ほどから説明しているように、現況の地形や土地利用というのを十分活かしながら施設配置を考えています。整備にあっても、現況のグラウンドや家屋跡地など自然環境に影響の少ない場所を選んで、施設計画を進めますので、自然環境に影響を与えたり、施設整備を優先する様なことは、考えていません。緑地整備については、保全と利用・活用のバランスを十分に図りながら進めていきたいと思っています。
新開副会長	会長、いいですか。
会長	はい。
新開副会長	今、山田委員が言われたのは、この会議の進め方もそうですが、道路と公園と入り込み対策で分かれているものの、現場は一緒の場所にあるのだから、公園をこんな風にする、周りの渋滞はどうなるという、プロジェクトの一番上と真ん中がちゃんと説明できるようにしないといけない。平成30年度には、別々で専門的にやってきたのを融合する予定であるが、「いいプロジェクトだなあ」と言えるようであればいけないし、最終的には、世界の「AIOIYAMA」プロジェクトとして説明出来ないといけない。緑地整備作業部会だけで、「こんな問題を解決します、配慮します。」「道路はもっと渋滞します。」ではなく、現場は一緒に道路があり、公園があるので両方をストーリーとして説明できなくてはいけない。しかも高い目標は、ユニバーサルデザインを取り入れていくことであり、非常に高度な挑戦だと思う。それぞれの部会で専門的に検討するが、最終的に一体化して、障害者対策やユニバーサルデザインも語れる、世界の「AIOIYAMA」計画素案になるのが理想である。そのようなことではないのかと、山田委員の話を聞いていて感じました。意見です。
会長	はい。どうぞ
伊東副会長	でも来年度、道路と公園は、連携してやっていくと言われましたよね。
道路事業廃止 作業部会長	今年度も園路につきましては、合同で部会を開催しています。
伊東副会長	ただ資料1を見ていると各作業部会が離れていて、世界の「AIOIYAMA」にどうやっていくのかなあと思うし、1年も待たなくてはいけないように見えてしまう。地元の方たちにとっては、緑地も道路も一緒だと思うので新開副市長のおっしゃる通りだと思う。

山田委員	<p>地元や近隣に住んでいる方はもちろんのこと、天白区の場合は、天白区を住みよくする会という組織があります。各学区の区政委員長さん始め、何人かの役員さんがいて、その会長さんが原氏であり、意見をとりまとめて緊急車両の話も要望されています。そのあたりは、全体での説明の対象にももちろん入れていただきたいですし、住んでいる方には、すごく影響あると思いますのでお願いしたい。</p>
堀場副会長	すみません。
会長	はい。
堀場副会長	<p>かなり高低差が激しいため、みんなイメージ湧かないので模型を作って、机の上に置いたらいいのではないか。資料3を見て、どっちが高く、どっちが低いのか分かる人、あまりいないと思う。</p>
小島経営アドバイザー	すみません。
会長	はい、どうぞ。小島経営アドバイザー。
小島経営アドバイザー	<p>建物だと立体的にデッサンしてもらおうとか、ポンチ絵的に描いて、来る人から見たら「こんな風景になる。」ということを示して、設計事務所や企画会社はプレゼンをします。見ていてイメージは湧きますが、あれはすごいお金がかかっている。そんなにお金をかけることはできませんが、全体のイメージがデッサンとかポンチ絵で分かるというのは、やっぱり大事です。地図を見て、山がどうなってるとか分かるには、大変な知識が要ります。意見を言ってもらいやすくするには、完成した中に立ってみて、どんな風景が見えるのかなどの、イメージが湧くものがあるといいと思います。民間が開発するときには、その様なものを使って、周りの地権者に対して住民説明会をやっています。だから、もう少し丁寧にやった方が、意見が言いやすいと思います。</p>
会長	はい、どうぞ。
三輪委員	<p>事務局からゾーニングについて今回提出いただきました。今後地元へ説明をする際には、イメージパースを準備していますので、そういったものを使っていきたいと考えております。また、道路や公園についても、できるだけ分かりやすいものを使い、それでも分かりにくいところは、次のステップとして、検討を繰り返しながら進めていきたいと思っています。</p>

会長	それは重要なことだと思う。この机の上にバーチャルリアリティーのような、3次元のものがあると雰囲気が出ると思う。
堀場副会長	1/2500ぐらいの手作りで等高線毎に出さないといけない。それを見るとよく分かるので、それが一番いいと思う。
会長	みんなで考えないといけない。どうですか、予算がどうなるのか分からないが。
緑地整備作業部会長	予算を上乗せしていただいて…。
会長	ここまでやったのだから、ある程度いいと思う。
緑地整備作業部会長	完成模型ではなく、スタディ模型のような、検討しながらどんどん変えていくようなものがよいのではないかと思います。
会長	等高線が分かっているので、バーチャルリアリティーでも出来るのではないか。
三輪委員	それだと地形だけになってしまいます。
会長	はい。どうぞ。
山田委員	これだけのものを造ると、せっかく道路の交通量を他で対策をしても、今後どのくらいの車が来て、また渋滞対策をしなくてはならないのではないかと気がなります。そのあたりの、シミュレーションみたいなものはないですか。地元の方は、不安になるかと思imasuので。
道路事業廃止作業部会長	それについては、今の段階ではまだ緑地整備計画がまとまっていないので、これからだと思っています。今やっている渋滞対策は、1日の交通量を見て一番厳しい、朝と夕方の通勤時でシュミレーションしています。今後の緑地整備計画にもよりますが、使い方により、渋滞の時間に重なってくる時には、対策を考えていきたいと思っています。
小島経営アドバイザー	いいですか。
会長	はい。どうぞ。

小島経営アドバイザー	<p>相生山緑地は、そのような通勤時間帯に活用してもらおう場所ではないと思います。例えば託児所をつくるのに、満員電車で子供を背負ってくる様なことは想定しません。どのような建物や公園でも、入ってくる車が平均化できれば、かなり改善します。このような場所は、通勤するわけでないで、開園時間や利用時間というのがあり、通常は地下鉄に乗って割引料金の範囲内で利用されます。どのような使い方であるかを含めて説明していただく必要があると思います。ここは出勤して帰る場所ではないし、どういう使い方をされるかによっても交通量は違います。基本的にたくさん人が来るところは、公共交通機関が整備されていて、エレベーター等があり、そこからアクセスでき、きちんとユニバーサルデザインになっているかどうかです。歩道橋や地下鉄からのアクセスや、そこからの歩道の安全性など、そのようなところが大切なのです。だから使い方を含めて説明しなくてははいけません。障害を持った人が、朝に出勤をして夜もラッシュに帰っていくという、非現実的な説明はしないでほしいです。</p>
会長	はい、どうぞ。
堀場副会長	<p>現在東山の一万歩コースは、市民の利用する緑地の使い方では代表だけれど、有料公園でないので把握しづらいと思うが、どういった方が利用されているのか。休みの日に地下鉄に乗ると、ザックを背負って、手にスコップを持って、東山一万歩コース行きますよって格好の高齢者の方をよく見かけるので。</p>
新開副会長	同じ局なので、一度調査してください。
堀場副会長	多いときにはおおよそ何人くらい利用しているのか知りたい。
会長	はい、他にはいいですか。やっぱりここに、立体図があるとよい。
堀場副会長	立体図でなくても、何かイメージできるものがあるといい。
会長	<p>立体図があると、議論が盛り上がってくると思う。          それでは各作業部会において、いま議論のあった内容を踏まえ、引き続き鋭意検討を進めてほしい。また来年度の予算については、各作業部会から説明のあった内容に議論のあった内容を反映した上で、予算要求することとし、詳細については財政局と調整をお願いします。          それでは、3つ目の議題である「その他について」に移ります。何かこの場で言っておきたいことがあれば、お願いいたします。小島さんいいですか。</p>

<p>小島経営アドバイザー</p>	<p>いいです。</p>
<p>会長</p>	<p>はい、では最後に事務局から、次回の検討会議の確認をお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>はい、では次回第11回の検討会議ですけれども、開催の時期としましては、来年の2月中旬を予定しています。これは、2月の定例会前を想定しています。予定しています議題としましては、平成29年度の検討のまとめと平成30年度の検討予定ということで報告させていただきます。以上でございます。</p>
<p>会長</p>	<p>はい、それでは次回は2月中旬に開催することとし、各作業部会において、今後も引き続き着実に検討を進めていただきたいと思います。以上で第10回検討会議を閉会します。ごくろうさまでした。</p>